2026 年ノーベル物理学賞を読み解く特別講演会

東京大学大学院理学系研究科　物理学専攻・附属ビッグバン宇宙国際研究センター

日　　時：　2026 年 11 月 19 日（木）　17 ： 00 ～ 18 ： 30

場　　所：　理学部 4 号館 1220 室

「1 km³の氷で探る極限宇宙－IceCube とニュートリノ宇宙物理学－」

2026 年のノーベル物理学賞は、IceCube ニュートリノ観測施設への多大な貢献と、天体起源の高エネルギーニュートリノの発見に対して、米国ウィスコンシン大学マディソン校のフランシス・ハルツェン教授に授与されることになりました。南極の氷を巨大な観測装置として利用する IceCube は、宇宙から届くニュートリノを捉え、宇宙で起こる激しい現象を探る新たな窓を開きました。

本特別講演会では、IceCube 実験と高エネルギーニュートリノ宇宙物理学、その意義を解説します。宇宙物理学を専門としていない学部生・大学院生をはじめ幅広い分野の方々を対象に、受賞対象となった研究やニュートリノ観測の仕組み、起源天体、今後の展望をわかりやすく解説します。ご興味をお持ちの皆さまのご参加を歓迎いたします。

プログラム

司会：　吉田直紀　（物理学専攻）

前半(実験): 石原安野 (千葉大学):

後半(理論): 村瀬孔大 (物理学専攻・ペンシルベニア州立大学):

興味をお持ちの方の聴講を歓迎致します。